

# 第46回 国際福祉機器展 H.C.R. 2019 報告

## 1 | オープニングセレモニー

多くの来場者や後援・協賛団体のご関係者などにお集まりいただいたなか、全国社会福祉協議会 清家 篤会長の開会宣言により、第46回国際福祉機器展 H.C.R. 2019が幕を開けました。開場前に催されたテープカットは、清家全社協会長、古都 賢一保健福祉広報協会理事長、H.C.R.海外コーディネーターのベン・アポロ・ラスムセン氏 [欧州担当]、トム・ポーチャディング氏 [北米担当] などによって執り行われ、展示会がスタートしました。

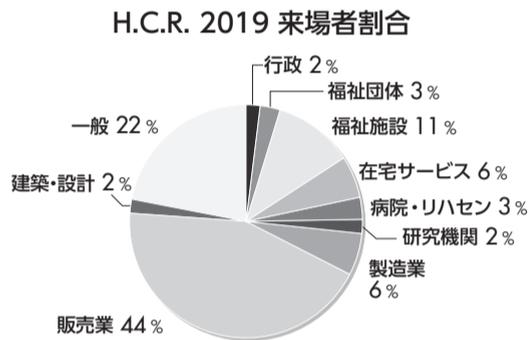


清家 篤 全国社会福祉協議会会長

日時	2019年9月25日(水) 9:45~
会場	西展示棟アトリウム

## 2 | 来場者 10.5万人

来場者数は、会期3日間で延べ105,675人。来場者の割合は、販売業関係者が44%と最も多く、次いで一般が22%、福祉施設11%、在宅サービス6%、製造業6%という割合でした。



## 3 | 出展社 438社・団体

### ● 国別出展社数

出展社数は、国内から379社・団体（うち、新規出展は33社・団体）、海外からは13か国・1地域より59社・団体（うち、新規出展は6社・団体）が出展。海外からは、デンマークやアメリカ、中国や台湾などアジア圏から多くのご出展がありました。

東京ビッグサイトが東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の準備のため、H.C.R.は従来の東展示ホールから西・南展示ホールへと使用ホールを変更しての開催でした。これに伴い、展示ホール総面積の制約が生じ、出展社の申し込みを予定時期より早く締め切るなど、展示環境を変えての開催となりました。

国名	出展社数
アメリカ	10
イギリス	5
イタリア	3
オーストラリア	1
オランダ	1
カナダ	1
韓国	1
スウェーデン	2
台湾	12
中国	7
デンマーク	8
ドイツ	5
日本	379
フランス	2
ベトナム	1

※国名50音順

### ● 製品別出展社数

H.C.R. 2019では、下記一覧の製品が多数展示されていました。複数以上の製品を展示する出展社も多く、展示製品別での出展社数を積算すると、総計で920社を超えています。

#### 【製品別出展社数一覧】

移動機器 (車いす等)	移動機器 (リフト等)
手動車いす	28
車いす関連用品	38
電動車いす	27
電動三輪・四輪車	4
自転車	2
介助車	5
移動機器 (杖、歩行器等)	
歩行者、歩行補助車	30
杖	26
移動機器 (リフト等)	
ストレッチャー等移動器具	7
移乗補助機器	15
床走行リフト	13
移動機器 (リフト等)	
固定式・据置式リフト	12
介助・歩行補助ロボット	11
福祉車両、関連機器	
障害者用自動車運転装置	5
車いす等用福祉車両	9
入浴用特殊車両	3
福祉施設等業務用自動車・エコカー	3
ベッド用品	
ベッド	15
マットレス、床ずれ防止製品	25
サイドテーブル	4
介護用シーツ	11
ベッド用品 (その他)	17

入浴用品	
浴槽	19
入浴用チェア	20
滑り止め用品	15
浴槽台	8
入浴用リフト	8
入浴用品 (その他)	7
トイレ・おむつ用品	
ポータブルトイレ	15
便器・便座	8
防臭剤、消毒剤	8
トイレ関連用品	17
おむつ関連用品	10
自動排泄処理装置	4
衣類・着脱衣補助用品	
衣類	13
靴	16
着脱衣補助具	1
コミュニケーション (聴覚・視覚)・見守り機器	
補聴器	1
福祉電話・FAX、携帯電話補助器	5
拡大読書器	2
緊急通報・見守り装置	23
障害者用OA機器、ソフトウェア、操作補助具	10
障害者用AV機器	2
コミュニケーション関連ロボット	7
コミュニケーション・見守り機器 (その他)	27
建築・住宅設備	
スロープ	15
手すり	23
エレベーター	2
段差解消機	8
階段昇降機	7
建築・住宅設備 (その他)	13

リハビリ・介護予防機器	
歩行等訓練機器	16
リハビリ用教材・機器	26
筋力トレーニング機器、身体機能訓練機器	16
口腔ケア用品	14
義肢、装具	
義肢、装具	5
日常生活支援用品	
自助具	17
障害者スポーツ・レクリエーション用品	10
介護関連用品	18
日常生活支援用品 (その他)	26
介護等食品、調理器具	
食器用品、食器	12
キッチン	3
調理器	6
高齢者・障害者向け食品	2
福祉施設環境設備・用品	
施設建築、施設用床材・壁材	4
洗濯機、乾燥機、掃除機、脱臭機	4
いす、座位保持・立ち上がり補助用品	8
家具、テーブル、洗面台	8
火災報知設備、自動消火設備	2
防災・避難用品	7
自家発電・蓄電装置	1
介護職員用衣類	6
福祉施設環境設備・用品 (その他)	12
感染症等予防用品	
空気清浄機、加湿器、消毒器	7
感染症等予防用品 (その他)	12
在宅・施設サービス経営情報システム	
福祉事業関係コンピュータシステム	35
出版、福祉機器情報	
福祉・介護・リハビリ・保健関係書籍・教材、情報誌、新聞、放送通信、福祉機器関連webサイト	26
製品別出展社数計	927

### ● 感謝状贈呈式

出展社の中から、H.C.R. 2019で15回目の出展を迎えられた出展社10社に会期初日の9月25日(水)、西展示棟アトリウムにて感謝状と記念品を贈呈しました。



### 15回目の出展を迎えられた出展社

- ・アダム技研株式会社
- ・アルジョ・ジャパン株式会社 (贈呈式ご欠席)
- ・エア・ウォーター株式会社
- ・株式会社オーヤラックス
- ・キューピー株式会社
- ・株式会社トンボ
- ・一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
- ・株式会社日立システムズ
- ・フジホーム株式会社
- ・プロト・ワン株式会社 ※社名50音順

## 4 | 国際シンポジウム

### 「認知症高齢者にやさしいまちづくり」、先進事例を講演

H.C.R. 2019では、「認知症高齢者にやさしいまちづくり～その実践と、アートを活用した支援にみる可能性～」をテーマに開催し、「認知症フレンドリー・コミュニティ」の発祥国である英国から専門家を招き、取り組み事例とその効果等に関する講演、また日本の取り組みについての議論が繰り広げられました。

英国のマリア・パーソンズ氏は「明日が楽しみ」参加型アートをを用いた介護施設入所者の健康・福祉向上」と題し、英国の介護施設に生活している41万人の約7割といわれている認知症高齢者にとってのアートの有効性について説明がありました。たとえば言葉によるコミュニケーションが難しい状態でも、五感による刺激の機会の提供が可能となる絵画、音楽、読書や詩の朗読などのアートは不安や動揺、気分の落ち込みを和らげるアクティビティになるうことを具体例をもって説明されました。また、介護実践への教訓として、社交の機会の提供の大切さや、言葉だけでなくあらゆる感覚を使って思いや気持ちを伝えるようにしてほしい、といった示唆がありました。

本シンポジウムで説明のあったこれらの内容を含め、今後わが国がめざすべきまちづくりのあり方などについて考察した内容を報告書として、本年3月に刊行予定です。

日時	9月26日(木) 13:00～16:00
会場	特設会場E1(西3ホール内)
シンポジスト	英国/マリア・パーソンズ氏 Creative Dementia Arts Network 理事 日本/杉山 美香氏 東京都健康長寿医療センター研究所 研究員
チューター	塚田 典子氏 日本大学 商学部 教授、 一般財団法人 保健福祉広報協会 理事



マリア・パーソンズ氏



杉山 美香氏



塚田 典子氏

## 5 | H.C.R.セミナー

幅広い方々の日々に役立つ、多彩でグローバルなテーマも織り混ぜて実施

福祉サービスを利用されている方々やそのご家族、保健・福祉・介護の関係者、企業関係者などの来場者向けに、関連する制度の動向や課題、福祉サービスの質の向上や施設の経営をめぐる最新の情報などを提供する場として、H.C.R.セミナーを開催しました。

会期3日間で10講座を開催し、一般来場者をはじめ、社会福祉施設の役職員、介護支援専門員、ホームヘルパー、企業関係者なども含めた延べ2,751人が参加し、それぞれのテーマに対する理解を深めました。

### (1) 一般、福祉サービス利用者・家族向け

#### ① 障害者文化芸術活動の推進と展望

日時	9月27日(金) 10:30～12:00
会場	会議棟1階102号室
講師	大塚 千枝氏 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室 障害者芸術文化活動支援専門官 吉原 貞典氏 文化庁地域文化創生本部事務局 総括・政策研究グループ チーフ 柴崎 由美子氏 障害者芸術活動支援センター@宮城 (SOUP) 代表 堤 康彦氏 特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち 代表



#### ② 障害のある人が社会参加しやすい共生社会の実現 ～ 2020年とそれ以降に向けた取り組みと課題～

日時	9月27日(金) 13:30～15:00
会場	会議棟1階102号室
講師	阿部 一彦氏 日本身体障害者団体連合会会長/全国社会福祉協議会障害関係団体連絡協議会会長

#### ③ はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー

「住宅改修編」「基本動作編」「自立支援編」の3編を以下の10テーマに分類し、3日間にわたり福祉機器の適切な選び方・使い方などを各専門家がわかりやすく解説しました。



9月25日(水) 住宅改修編	● トイレ・排泄用品 ● 住宅改修 ● 入浴機器
9月26日(木) 基本動作編	● ベッド ● リフト等移乗用品 ● 杖・歩行器等補助用品 ● 車いす
9月27日(金) 自立支援編	● 福祉に役立つ情報機器・電子機器 ● 福祉車両 ● 自助具

※会場はいずれも会議棟1階レセプションホールB

#### ④ 高齢者むけの手軽な日々の食事

～総菜や加工食品をおいしくバランスアップ～

高齢になっても、食事から十分な栄養を取り入れていただけるよう、スーパーの総菜やレトルト食品などを利用した、手軽な食事作りのポイントを、講義と実演でご紹介しました。また、当日配布したパンフレットには、講義や実演に登場した用語の解説や料理のレシピをわかりやすく掲載しました。

さらに、同企画の開催10周年を記念して、関連セミナーを実施しました。

日時	9月25日(水)～27日(金)の 各日11:00～12:00の時間帯
会場	特設会場E3(西3ホール内)
講師	押田 京子氏 虎の門病院 栄養部 副部長 今 寿賀子氏 虎の門病院 栄養部 前部長



### 「高齢者むけの手軽な日々の食事」10周年記念セミナー

#### (1) 高齢者が健康な生活を維持するための栄養と食事を考える

日時	9月25日(水) 14:00～15:00
講師	押田 京子氏 虎の門病院 栄養部 副部長 今 寿賀子氏 虎の門病院 栄養部 前部長

#### (2) 摂食・嚥下の機能と誤嚥性肺炎

日時	9月26日(水) 14:00～15:00
講師	磯 さおり氏 虎の門病院リハビリテーション部 言語聴覚士

#### (3) 高齢者のフレイル対策

～低栄養予防における保健事業と介護予防の一体的実施について～

日時	9月27日(金) 14:00～15:00
講師	田中 和美氏 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 教授

※会場はいずれも、特設会場E3(西3ホール内)

### (2) 福祉職・介護職向け

#### ① 福祉施設の実践事例発表～役立つ、活かせる工夫とアイデア～

日時	9月25日(水) 13:30～16:00
会場	特設会場E1(西3ホール内)、会議棟1階102号室 ※高齢者福祉分野と障害者福祉分野を2会場にて開催
発表事例	<p>＜高齢者福祉分野＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 福祉機器と“共に生きる”</li> <li>(2) 車椅子メンテナンスを広げる取り組み～職員の意識を高めるアイデア～</li> <li>(3) スタッフが働きやすい環境を作る! ～離職者を出さない施設の取り組みと効果について～</li> <li>(4) 理想の排泄ケアを実現する用具開発～開発用具を使用した事例紹介～</li> <li>(5) まちと共に 未来をともに</li> </ul> <p>司会進行: 湯川 智美氏 社会福祉法人 六親会 常務理事、一般財団法人 保健福祉広報協会 監事</p> <p>＜障害者福祉分野＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) すべては「人を大切にすること」からはじまる ～「人を大切にすること」経営の九つのキーワード～</li> <li>(2) 職場における企業に籍型ジョブコーチの効果的かつ具体的な支援内容について</li> <li>(3) 農福連携を取り入れた工賃向上に向けての取り組み ～地域における農福連携の可能性～ 共同受注窓口を活かした農福連携 ～香川県モデル～</li> <li>(4) ノーリフトケア ～リフト等の介護機器活用と効果～</li> <li>(5) 災害支援を行う意義 ～社会福祉法人 南山城学園の実践～</li> </ul> <p>司会進行: 久木元 司氏 社会福祉法人 常盤会 理事長、 一般財団法人 保健福祉広報協会 理事</p>



#### ② 新卒人材確保にかかる最新動向と広報のあり方について

日時	9月26日(木) 10:30～12:00
会場	会議棟1階102号室
講師	東郷 こずえ氏 株式会社マイナビ リサーチ&マーケティング部 HRリサーチ1課 課長

#### ③ 『働き方改革』のねらいと働きやすい職場づくり

～介護福祉分野を中心に～

日時	9月26日(木) 13:30～15:00
会場	会議棟1階102号室
講師	齋藤 直路氏 株式会社 スターパートナーズ/ 一般社団法人 介護経営フォーラム 代表



#### ④ 施設で役立つ介護ロボット・ICTの最新動向

日時	9月27日(金) 13:30～15:00
会場	特設会場E1(西3ホール内)
講師	五島 清国氏 公益財団法人 テクノエイド協会 企画部長



**(3) 企業関係者向け**

**① 世界に羽ばたく日本の介護・福祉ベンチャーイノベーション**

日時	9月26日(木) 10:30~12:00
会場	特設会場E1(西3ホール内)
内容とスピーカー	<p>(1) オープニング・プレゼンテーション 富原 早夏氏 経済産業省 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室長</p> <p>(2) ショートプレゼンテーション 「日本のヘルスケアベンチャーの取り組み」 原 正彦氏 株式会社mediVR 代表取締役社長 中西 敦士氏 トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社 代表取締役 内藤 淳平氏 WHILL株式会社 取締役 兼 最高開発責任者 (CDO) 森 政男氏 リーフ株式会社 代表取締役社長 技術責任者</p> <p>(3) ショートプレゼンテーション 「アジア各国の課題と取り組み」 Ms. Angela K.W.NG氏 香港社会服務聯合 (HKCSS) Project Director Dr. Gengpong Tangaroonsanti氏 K.P.N.シニア・リビング株式会社代表、 高齢者リハビリテーションセンター "SENIZEN" 経営者</p> <p>(4) パネルディスカッション (上記メンバーによる)</p>



**② 日本の医療・介護産業による中国・ASEAN展開の状況と課題について**

日時	9月26日(木) 10:30~12:00
会場	特設会場E1(西3ホール内)
講師	呉 冬梅氏 日本貿易振興機構 (JETRO) 大連事務所 高級経理 鈴木 将史氏 株式会社メディアヴァ 海外事業部 部長

**6 特別企画**

多彩な企画・テーマごとに製品の総合展示、相談受付、講座を開催

**① アルテック講座2019 ～身の回りに**

**あるテクノロジー(アルテック)で創る豊かで楽しい生活～**

<会議棟1階101会議室>

本講座では、スマートフォンやタブレットなどの情報機器や電子機器を、障害のある人の生活や学習・就労支援に活かすアイデアとともに紹介しました。



**【講座テーマ】**

9月25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りにおけるテクノロジー(アルテック)が支援技術に変わる - 高齢者や障害のある人の生活支援 -</li> <li>声で生活環境をコントロールする - スマートスピーカーを活用した支援 -</li> <li>スマホやタブレットのアクセシビリティ - 障害のある人がスマホやタブレットを使いこなす -</li> </ul>
9月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>見ることに困難のある人のスマホ・タブレット活用 - アルテックを用いた視覚障害のある人の生活支援 -</li> <li>身近な情報機器を用いた障害のある人や高齢の人の生活支援 - パソコンやスマートスピーカーの利用 -</li> <li>最新の情報技術を利用したこれからの生活支援 - AI(人工知能)やIoTの利用 -</li> </ul>
9月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りにおける情報機器を読み書きなどの学びのツールに変える - アルテックを用いた学習障害や認知障害のある人の支援 -</li> <li>障害のある人や高齢の人のテクノロジー活用 - アルテックを楽に使いこなすためのアイデアと工夫 -</li> <li>学校や職場における障害のある人の支援とテクノロジー利用</li> </ul>

**② 子ども広場～子どもの福祉機器と相談コーナー～**

<会議棟1階レセプションホールA>

障害のある子ども向けの福祉機器の開発・普及や子育てを支援し療育の相談支援のため、下記4つのコーナーを開設しました。

**● 子ども向け福祉機器展示コーナー**

親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器の展示と製品説明を行いました。

展示製品	●車いす ●いす・カーシート ●食器用具・食器/衣類・靴 ●学習・訓練機器/コミュニケーション機器 ●バギー・歩行器 ●入浴・トイレ用具/家具
------	---

**● 相談コーナー (療育相談と福祉機器相談)**

「療育」と「福祉機器」のそれぞれに相談員を配置し、3日間にわたって連日、11:00~12:00、13:00~14:30、15:00~16:00の3回、無料で相談に応じました。

**● 現在も未来も大切です！子どもの住まい**

(肢体不自由・医療的ケア、知的障害、発達障害) 相談コーナー

子どものための住宅改修事例を肢体不自由・医療的ケア編・知的障害・発達障害編に分け、会期3日間各日13:30~16:00の間、リハビリテーションセンターの建築士などが相談に応じました。

(運営協力：横浜市総合リハビリテーションセンター)

**● ひとやすみコーナー**

保育士が常駐し、おもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者と子育てについてお話しする場としました。

(運営協力：東京都社協保育士会)



**③ 日常生活支援用品コーナー「十人十色展」**

<会議棟1階レセプションホール>

開催テーマを高齢者のための「十人十色展」と題し、ブース内を「衣」「食」「住」といった一日の生活のなかの具体的な場面に分類し、場面ごとに役立つ製品を総合展示しました。

(運営協力：共用品推進機構)



**④ 補助犬コーナー**

<会議棟1階レセプションホールA>

障害のある方のパートナー「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」を紹介する場を設けました。

また、会期3日間各日11:00~11:45、および14:00~14:45の間、補助犬3種によるデモンストレーションを実施し、補助犬3種の理解を深める機会としました。



**⑤ ふくしの相談コーナー**

<西展示棟アトリウム>

作業療法士や技師などの専門家が、福祉機器や自助具に関わる来場者の相談に無料で応じました。また、「自助具製作体験コーナー」として、ストローホルダーおよびホルダー付きスプーンの製作体験などを9月25日(水)・26日(木)に計4回実施し、自助具に関する理解を深めました。

(協力：日本作業療法士協会、協力および講師：NPO法人自助具の部屋)



**⑥ 福祉機器開発最前線**

<特設会場E4(西4ホール内)>

企業や研究機関の開発、試作状況などの最新の情報提供や紹介を行う本コーナーでは、障害のある人たちが先端科学技術を駆使したアシスト機器を使って日常生活に必要な動作で競う国際競技大会「サイバスロン」とそこで使用された機器を専門家による説明や試乗、講演などで紹介しました。

とくに、2019年に日本で開催された「サイバスロン車いすシリーズ」大会において上位入賞したロシアチーム等を招き、デモンストレーションも交えつつ、最新の開発情報を提供する機会としました。



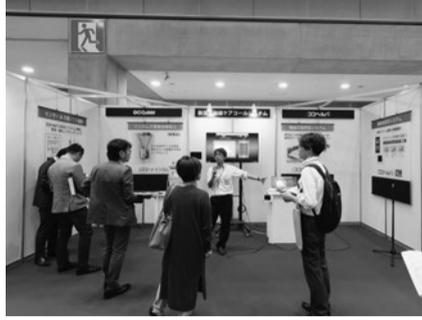
**【講演 サイバスロンと福祉の心】**

日時	9月25日(水)~27日(金) 14:00~15:00
講師	富田 豊 慶応義塾大学 名誉教授

## ⑦ CareWare Japan

<特設会場E2 (西4ホール内) >

デンマーク・オーフス市が開発し北  
欧やEC圏内への展開が進められている  
商談プログラムCareWareを日本初開  
催しました。日本版では、デンマークで  
開発された福祉機器評価手法を活用す  
る方法も学べる、福祉・介護業界の経  
営層とソリューションを持つ企業とのビ  
ジネスマッチングイベントにローカライ  
ズしました。「ソリューションが経営を  
変える～介護職員が活きる職場づくり～」をテーマとし、生活支援やヘルスケア分



野の新技术、ケアスタッフの労働環境を改善するソリューションなどの機器などにつ  
いて導入を前提で紹介する場となりました。

## ⑧ 被災地応援コーナー

<西展示棟アトリウム>

災害に見舞われ、復興に取り組みな  
がら製造・生産活動に取り組む障害者  
就労支援施設・事業所の製品を例年に  
引き続き販売し、復興支援に協力する  
機会としました。

(運営協力：NPO法人 日本セルフセンター)



# 7 | 出展社プレゼンテーション

出展社プレゼンテーションを会期3日間、30を超える出展社の企画・運営により開催しました。

## H.C.R. 2019 出展社プレゼンテーション 31プログラム

入場無料/参加自由 <西展示棟2階会議室>

会場	時間	出展社名
A	10:30~ 11:30	(株) シルバー産業新聞社 テーマ：福祉用具サービスの制度動向と価格、 質向上について
	12:30~ 13:30	(株) 富士データシステム テーマ：介護の生産性向上！ 介護ICT / IoTのあるべき姿
	14:30~ 15:30	西川(株) テーマ：眠りを通して介護を考える 講師/上条 百里奈
B	10:30~ 11:30	(株) QDLレーザ テーマ：見える。を増やす 網膜走査型レーザアイウェアの紹介
	14:30~ 15:30	(株) アルコ・イーエックス テーマ：新しい見守りのかたち 「ペイシェントウォッチャー」
C	10:30~ 11:30	(一社) 日本リハビリテーション工学協会 テーマ：電動車いすでどこでも行こう！ ～ローカル線のり鉄旅～
	12:30~ 13:30	アビリティーズ・ケアネット(株) テーマ：宿泊施設のバリアフリー化に向けた 改修事例と福祉機器の活用
	14:30~ 15:30	(公財) テクノエイド協会 テーマ：多職種連携に役に立つプロ資格 『福祉用具プランナー』
D	10:30~ 11:30	OG Wellness / オージー技研(株) テーマ：膝関節痛に対する入浴を利用した運動療法
	14:30~ 15:30	旭(株) テーマ：施設給食管理者必見！ ミールシャトルで人材不足も解決

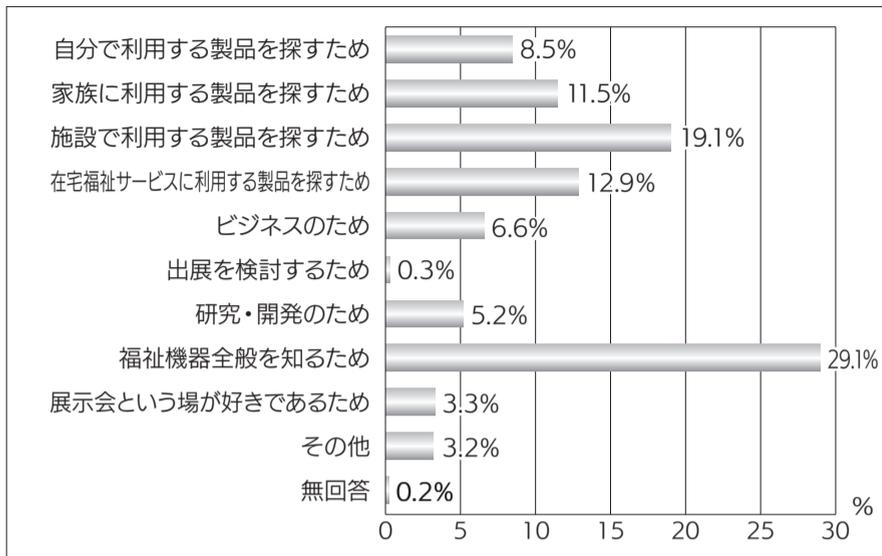
会場	時間	出展社名
A	10:30~ 11:30	(公社) 日本理学療法士協会 テーマ：使用者の立場から見た福祉機器の見方・選び方
	12:30~ 13:30	(株) ワイズマン テーマ：1300床で稼働中！ 見守りシステム導入後の現場の声
	14:30~ 15:30	TOTO(株) テーマ：自立支援の介護
B	10:30~ 11:30	RIFTON EQUIPMENT テーマ：機器を使用した早期歩行訓練を行うメリット
	12:30~ 13:30	北海道庁 テーマ：障がい児のためのスポーツ用具開発から 学んだこと・出展製品紹介

会場	時間	出展社名
B	14:30~ 15:30	OM INTERACTIVE LIMITED テーマ：動く映像と音で楽しく行なうリハビリ、 レク、脳トレ
C	10:30~ 11:30	(一社) 日本福祉用具供給協会 テーマ：生活の変化に対応した福祉用具の適切な変更とは
	12:30~ 13:30	(一社) 日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA) テーマ：ヒヤリ・ハットを知り事故を防ごう (自立支援機器編)
	14:30~ 15:30	医療・介護ベッド安全普及協議会 テーマ：医療・介護ベッド事故と対策 介護ベッドにできること
D	10:30~ 11:30	(株) シナノ テーマ：ポールウォーキング体験会
	12:30~ 13:30	Assist Motion(株) テーマ：ロボティックウェア curara®の新技术
	14:30~ 15:30	ORMESA SRL テーマ：Are the shape and surfaces important to prevent pressure sores?

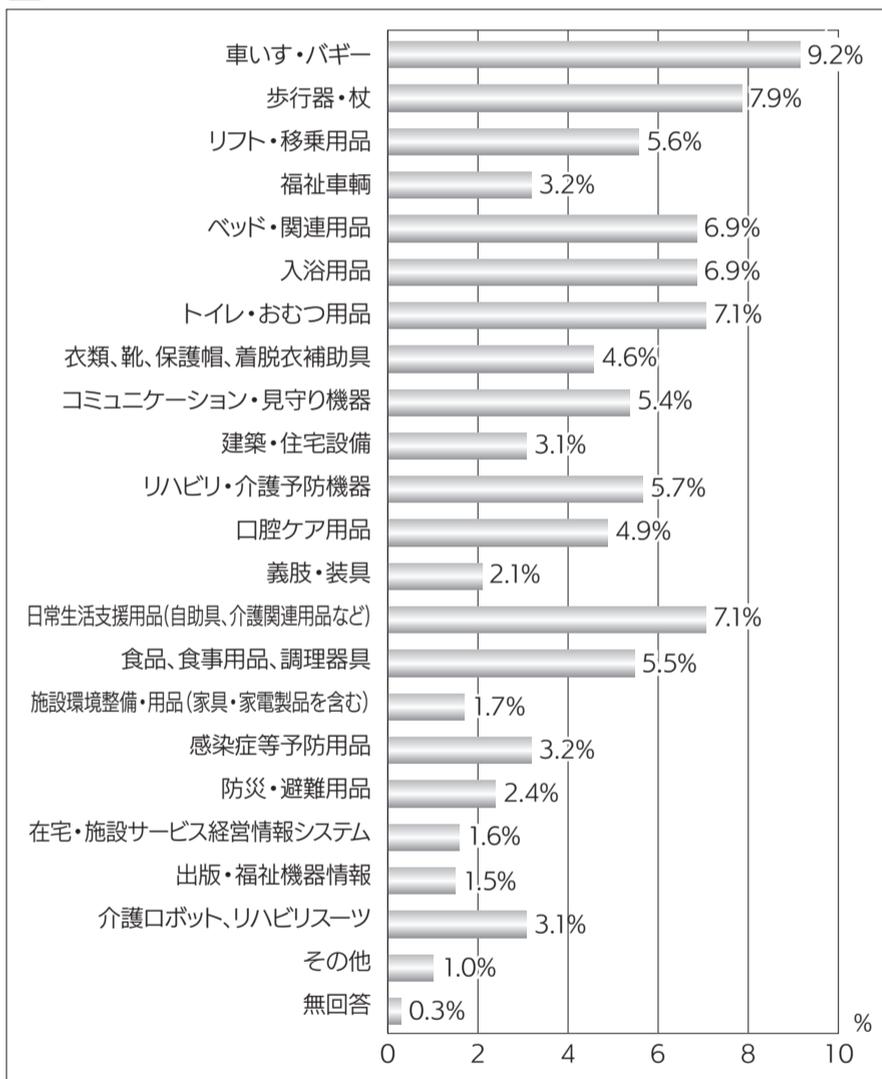
会場	時間	出展社名
A	10:30~ 11:30	マッスル(株) テーマ：持ち上げるから卒業、 優しく抱き上げる看守りの移乗に
	12:30~ 13:30	トレンドマスター(株) テーマ：コミュニケーションロボット市場の現状と未来
	14:30~ 15:30	北海道庁 テーマ：皮膚トラブルを有する高齢者の スキンケア・フットケア
B	12:30~ 13:30	大邦機電(有) テーマ：失敗しない！段差解消機の正しい選び方
C	10:30~ 11:30	(株) FUJI テーマ：簡単操作、移乗・排泄支援「Hug」のご紹介
	12:30~ 13:30	アシックス商事(株) テーマ：アシックス商事(株) 健康機能シューズ開発
	14:30~ 15:30	(株) メトス テーマ：1000人から学ぶ老人ホームの 住まい方と働き方
D	10:30~ 11:30	パシフィックサプライ(株) テーマ：頸損女子の進学・就労のリアル
	12:30~ 13:30	(株) エス・エム・エス テーマ：成功している事業所はどうか考え、分析、 対策しているか

## 8 | 来場者アンケート結果 — 3,973件回収

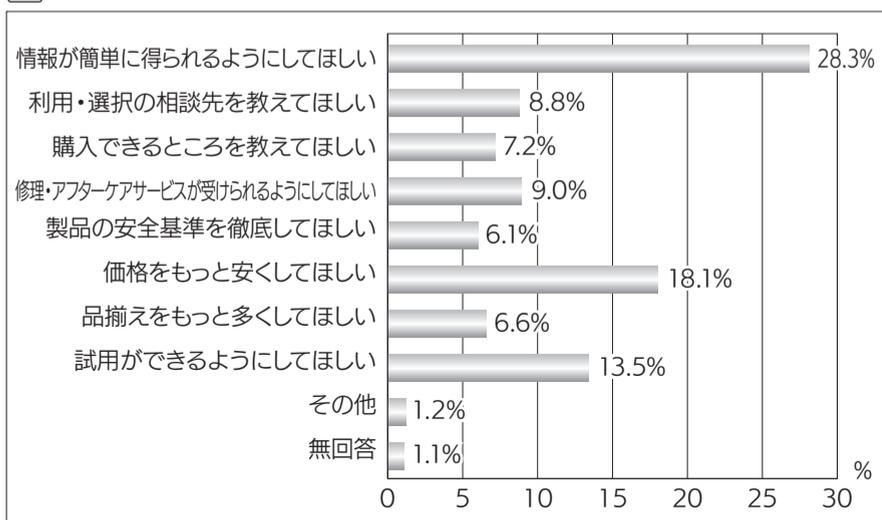
### ① H.C.R. 2019への来場の目的〔複数回答〕



### ② お探しの製品の種類〔複数回答〕



### ③ 福祉機器の利用についての要望〔複数回答〕



### ④ 福祉機器の利用についてのご意見、ご要望 (フリーアンサー 一部抜粋)

- 福祉機器の製品開発は、多くの施設スタッフとの意見交換や利用者の試用を重ねたうえで進めてほしいです。
- どの年齢の人でも扱える簡単で安全な製品を望んでいます。
- 衛生面において手入れが簡単な製品がよいと思っています。
- 住宅介護で身近に使える新製品がまとめて紹介され、試用比較ができるような機会が地域の中にあるとよいと考えます。
- 知的障害や発達障害の人のための福祉用具の開発が広がってほしいです。
- 子ども用の福祉機器が少ない。子どもが使いやすく、可愛い製品がほしいです。
- その福祉機器の利用上のメリットだけでなく、デメリットや使用できない対象等も併せて知りたいです。
- なかにはカタログの寸法イメージと実物に差がある製品があり、改善してほしいです。
- デザイン性も含め、介護用品としてではなく日常製品として作ってほしいです(特に、衣服関係)。
- 費用面を含め福祉機器のレンタルを気軽に利用できるようにしていただきたいです。
- メンテナンス体制の不備が多く、修理やアフターケアサービスが受けられるよう、業界全体としての対策にも期待しています。
- 自分でも修理可能な仕組みの製品が増えるとよいと思います。
- 現在ある製品に付ける便利グッズも多くあるとよいと考えます。
- 部品を変えると体型に合わせて調整ができるような製品がもっとほしいです。
- IT機器の選択肢に「個別の要望に対応できるフリープログラム対応品」のようなものが開発できないものではないでしょうか。
- 外出しても利用しやすく、また外出したくなるようなデザイン性の優れた機器がよい。楽しくておしゃれな北欧のようなデザインの製品を望みたいです。
- 認知症になった時に使用できる製品が増えることを期待しています。
- コミュニケーションのための福祉機器や用具(カード等)の一層の充実をお願いします。
- 電動式福祉機器について電源が使えなくなった時の対処方法を教えていただきたい。
- カーシェアリング等が話題になっていますが、それに準じたかたちでの共同利用製品もあっても良いのではないのでしょうか。

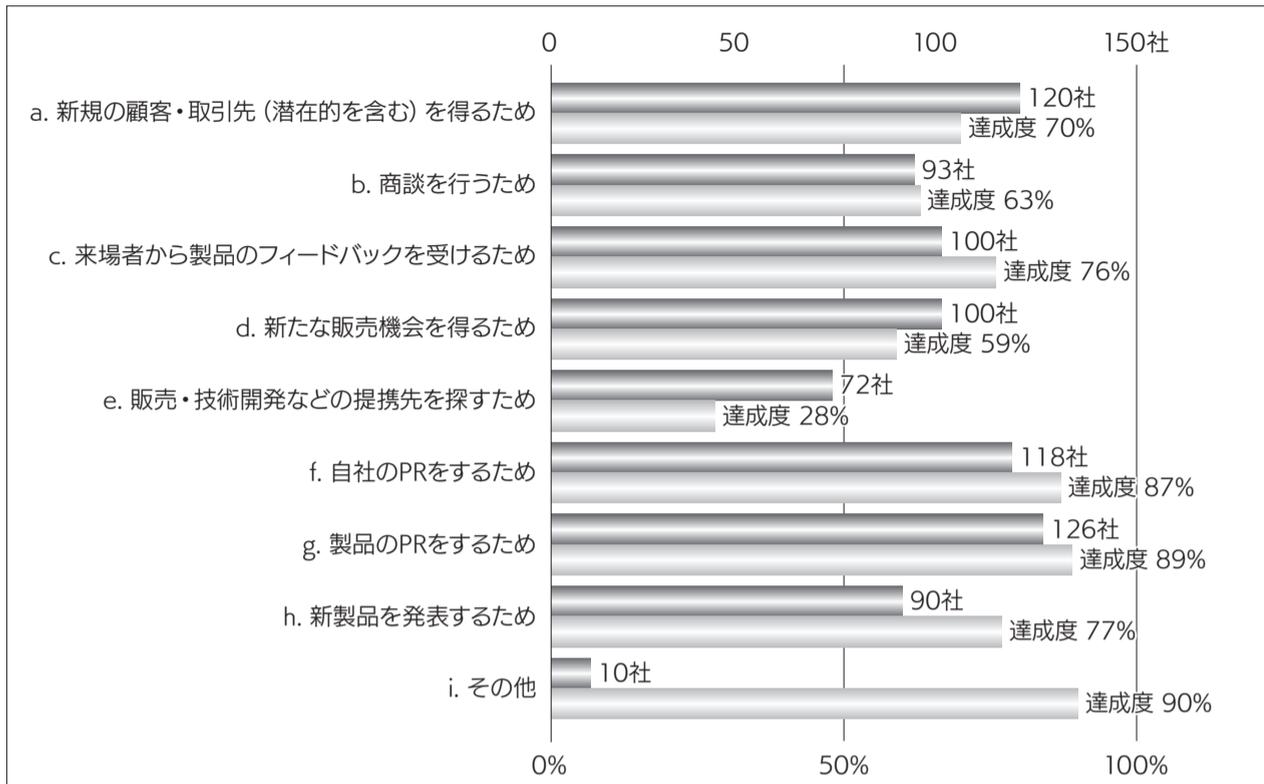
### ⑤ H.C.R.についてのご意見、ご要望 (フリーアンサー 一部抜粋)

- H.C.R.は年々進化しており、毎回盛況となる要素が多くある点を評価しています。来るたびに新情報が増えており、自分の価値観を広げるよい機会です。
- 注目度が高い展示会であり、各企業がH.C.R.を準拠に新製品を発表したりと見応えのある機会にもなっています。この機会を待って製品を購入することをいつも楽しみにしています。
- カタログだけでは知り得ない、ほしかった機器情報を一度に得ることができました。展示物を比べるなかで目的に合致する新しい製品が見つかり、成果になりました。
- 出展数も多く、一堂に会してこの規模の展示会があることが助かっています。今回も、目からウロコの最新機器を実演を交えて見ることができ、知見が広がりました。
- 出展ゾーンがわかりやすく分けられ、目的を持って回りやすかったです。案内アプリ画面には改良も必要ですが、探したいブース探しに重宝し、効率よく見れました。
- 海外製品の発想やデザインの良さに感心するとともに各国との比較もできました。同時に国産の開発者の、ユーザーへの思いや責任感も大変印象深かったです。
- 展示製品が多く、求めている情報も見つかり、いろいろな企業との新しいつながりもできました。また、ふだんつながりのある業者が開発した最先端の製品や技術を実際に見て試すことができました。
- おむつ等の排泄ケア用品や介護食関連のブースのさらなる出展増に期待します。
- 子どもに特化した福祉機器展示会はなかなかないなか、「子ども広場」はとてもよいと思います。いろいろな種類の子ども向け製品が多数紹介されていました。
- 視覚障害者向け・認知症の人向けの機器や、コミュニケーション支援機器等の展示がもっと多くあるとよいと思います。
- 展示ホール間の移動距離はあったものの、ホール内は総じてどこもスペースが広めで車いすでも十分に移動でき、見やすかったと感じました。
- 今回の会場は各展示ホールにいろいろな方向から入れるメリットがありましたが、導線が長いうえ、来場者の移動方向が交錯する場所もありました。
- パワースーツ等も含め、介護スタッフとして見て回るだけでモチベーションがアップしました。施設で活かせる製品が多く、新しい情報を持ち帰ることができます。
- 介護福祉士としてAI関連情報の取得を目的に来場しましたが、介護業界もAI化が始まっていることを目の当たりにし、実感できました。
- 毎年参加するたびに新製品や改良商品が展示されており、その進歩の早さと便利さの工夫の努力に感謝しています。来年も期待して来場したいと思っています。
- 毎年、自分の目で福祉機器全般を見ることは介護現場の業務にとっても役立っています。今後も私たち施設関係者への情報発信の場として期待しています。
- 20年以上参加しており、毎年、よい情報を得て帰ることができています。関係者の意気込みを感じられ、来た甲斐があったと毎回、実感しています。
- CYBATHLONに使用された最先端技術による車いすを間近で見ることができました。階段で手を借りずに昇降している機器の技術に感銘しました。
- 防災関係の福祉機器・用品の出展が増えることを望みます。加えて、福祉機器が災害の場でどう使われ、逆にどんな課題があるのかをさらに学べると良いと思います。
- 住宅等の建築設備に関するさらなる展示の充実を望みます。特に、近年の福祉ニーズに応じた中古物件の改修や再利用に関するものがあれば嬉しいです。
- 機器展示にあたっては、日本の施設や在宅に適合するもう少し現実的な広さ、スペースで展示するようなブースがあってもよいと感じました。

## 9 | 出展社アンケート結果 — 国内139件、海外39件回収

### ① H.C.R. 2019への出展の目的とその達成度〔複数回答〕

#### 【国内出展社】



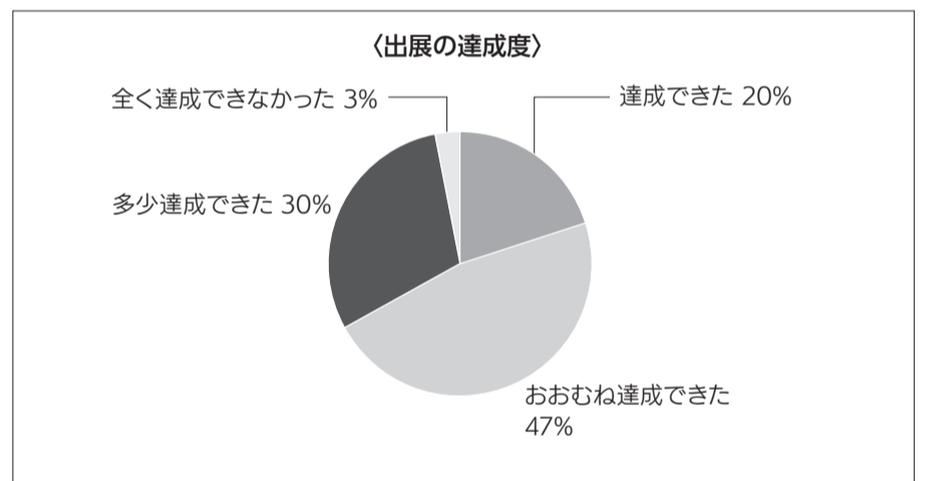
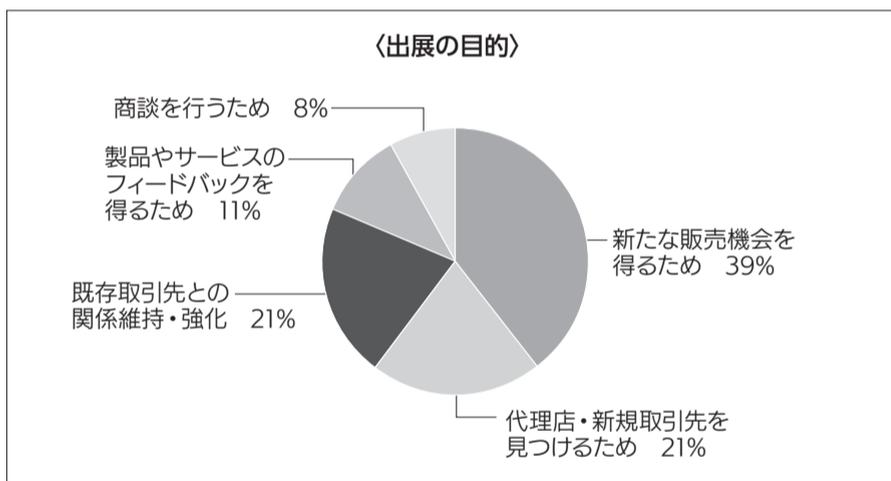
達成度：「i. 達成できた」「ii. 多少達成できた」「iii. あまり達成できなかった」「iv. 達成できなかった」の4択のうち、i・iiの割合の合計



#### 【i.その他】の具体的な内容

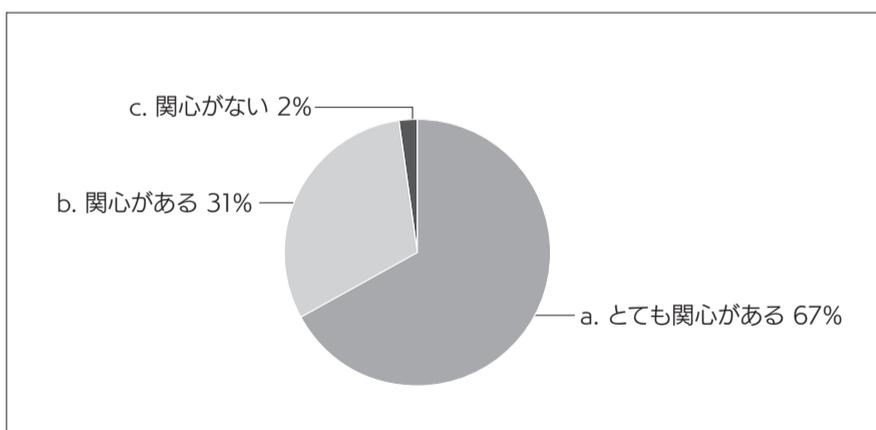
- ・製品の安全啓発PRをおこなうため
- ・製品を試着してもらうため
- ・業界動向の情報収集のため
- ・関連事業の周知・報告・情報提供のため
- ・ユーザー・関連企業との有効な情報交換
- ・助成した事業の成果の発表
- ・技術開発等のPRをするため

#### 【海外出展社】



### ② H.C.R. 2020への出展予定

#### 【国内出展社 & 海外出展社】



### ③ ご意見、ご要望（一部抜粋）

1. 多くのお客様に当社ブースをご訪問いただくことができましたが、慣れない初利用の展示ホールの影響か、出展の位置がわかりづらかったとの意見もありました。
2. アプリによる会場案内や製品検索など、来場者への情報提供の仕方に工夫がなされており、このことは私たち出展社にも有効なものとなっていました。
3. 南展示ホールでの出展は来場者にじっくり話を聞いていただける環境となっており効果的でした。例年の混雑時にあった来場者の苛立ちは少なかったと感じました。
4. 南展示ホールで出展しましたが、混雑なく気持ちよく参加でき、搬入出もうまく分散されていて誘導も適切でスムーズでした。
5. 昨年までの東展示ホールが使えない影響でしょうが、今回の来場者導線は特に車いすの来場者にとってエレベーターの大きさや数、ホール間の距離等において課題が生じていると感じました。昨年のように1日で回れないため、2日間来たというお客様もいらっしゃいました。
6. 年々海外からの来場者が多くなっているようです。対応上の参考にしたいので、海外来場者の入場方法に関連してさらなる工夫をお願いしたいと考えます。
7. 福祉機器ガイドブックは来場者が持ち帰る時の利便性も考え、将来はE-book化したほうが有益ではないでしょうか。
8. H.C.R.は規模の大きさゆえ消費者、販売関係者との重要な接点が見られる機会であり、情報共有等のための素直な意見交換ができる場となっていて有効です。
9. 海外の出展社と大使館関係者を通じてお互いの製品を紹介しあえました。製品開発のうえで過剰機能に費用をかけすぎているか等、気づきが多くありました。
10. 東京2020オリ・パラ大会に関連した企画も行うなど、展示ホールの位置に左右されない、さらなる集客が期待できる仕掛けを工夫していただければと考えます。

## 10 | 広報、PR活動

H.C.R. 2019の開催を広く周知するため、出展等関係者や福祉関係施設・団体、これまでに来場いただいた方などへDMハガキ63万枚、ポスター5千枚、リーフレット32万枚を作成し、事前配布、告知しました。また、昨年より開始したFacebookを活用し、年間を通してH.C.R.関連情報も含めた配信を行ったうえ、マスコミ関係者等に向け、保健福祉Newsの発行や、H.C.R.プレスリリース(計10回)の配信などを通じて関連記事情報や取材の案内を行ったところ、会期中に205件のプレス取材がありました。

さらに、H.C.R.Webサイトでは、H.C.R. 2019の多彩なイベントプログラム情報などを掲載し案内したほか、スマートフォン対応のH.C.R.アプリをもって、展示会場内における来場者のスムーズな移動や展示製品情報をより簡単に得るための機能を充実させ、来場者の利便性を図りました。結果、7～9月の3か月間に166万件超のページビューがありました。

また、メディアにて、次のようにH.C.R. 2019の開催を含めた情報が発信されています。

### ● テレビ

TOKYO MX	TOKYO MX NEWS	9/26 18:00～18:30
福島中央テレビ	介護のミライ	10/20 11:25～11:30
NHK BS1	NHK World Japan great gear	11/9 4:30～4:58

### ● 新聞、業界紙、情報誌、機関誌

サッシタイムス	4/1
シルバー産業新聞	7/10-11/10の各号
シルバー新報	8/9、9/13、9/20、10/4、11/8
月刊ケアマネジメント	8/30
月刊福祉	9/1、10/1
福祉介護 テクノプラス	9/1
やまなしの福祉	9月号
陶業時報	9/1
日経ヘルスケア	9/10
日刊工業新聞	9/24 他
ケアビジョン Vol.2 2019	10/1
家具週報	10/1
毎日新聞	10/2
住宅産業新聞	10/3
福祉用具の日しんぶん 2019	10/10
介護新聞	10/31、11/7
月刊文具	10/31
自動車販売	11/1
国際イベントニュース	11/10
ふれあいケア	12/1 他

### ● Web News

carview	8/30、9/11、9/19、9/25、9/26、10/21
PR TIMES	9/3、9/13
excite ニュース	9/11、9/18、9/19
Response	9/12、9/17、9/19、9/25、9/27、9/29
AGARA 紀伊民報	9/18
共同通信 PR wire	9/23
Car Watch	9/24、10/3、10/23
日経 XTECH	9/24、9/27
All About NEWS	9/24
日本経済新聞 電子版	9/27
遊技通信 web	9/27
clicccar	9/27、9/29
TOKYO MX NEWS	9/28
ゴムタイムス	9/30
ガジェット通信	10/2
グリーンペると Web 版	10/2
株探	10/3
NEWSVISION	10/3
ニコニコニュース	10/23
Believe	10/23
S-MAX	10/23
日経 Automotive	11/8
日刊ゲンダイ Digital	11/11

※一部のみ掲載

## 11 | 車いす貸出コーナー&シャトルバス

H.C.R.では例年、出展社から車いす製品の貸出しのご協力をいただき、会場内の移動の際に車いすを必要とされる来場者に対して、電動車いすなどの貸出しを行っています。

H.C.R. 2019では5社の出展社にご協力をいただき、会期3日間で来場者から153件の貸出し依頼がありました。

また、会期3日間、りんかい線の「国際展示場駅」と東京ビッグサイトの中央ターミナルならびに南展示棟4階入口につながる区間で無料の巡回バスを運行し、延べ8,072人の利用がありました。本会は来年度以降のH.C.R.開催においても引き続き、車いすを利用して来場される方や、歩行が困難な来場者のための利便性の向上に努めてまいります。

### ■ シャトルバス運行概要

運行区間	国際展示場駅 ⇄ 東京ビッグサイト 中央ターミナルおよび南展示棟4階入口前
運行期間	2019年9月25日(水)～27日(金)の3日間
運行時間	9:30～17:30 (最終日は12:00～16:00)

### ■ 車いす貸出協力出展社

(株) いうら  
MOVAID (株)  
(株) キュリオ  
ヤマハ発動機 (株)  
(株) 今仙技術研究所

※社名50音順

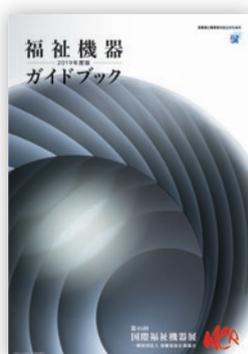
## 12 | 2019年度版 福祉機器ガイドブック

本冊子は、H.C.R. 2019に出展された国内217社、海外59社の多彩な福祉機器が約1,200点収録されています。会場でご購入された来場者の皆さんは、関心のある福祉機器を探るうえで活用されています。

本冊子は、会期中のみならず年間を通して販売しており、保健福祉広報協会ホームページの「出版物のご案内」(<https://hcrjapan.org/book/>)からご注文いただけます。ぜひご購入いただき、日常の福祉機器選びにお役立てください。

- 〈仕様〉・A4判：196頁(カラー)  
・価格：1,000円(税込、送料別)  
・発行：2019年9月9日

※「送料」と、「代金引換」もしくは「代金振込」に関わる手数料は申込者負担です。



## 2020(令和2年)開催

### 第47回 国際福祉機器展 H.C.R. 2020

会 期：2020年10月21日(水)～10月23日(金) [3日間]

会 場：東京国際展示場「東京ビッグサイト」  
西・南展示ホール(東京都江東区有明)

入 場 料：無料(登録制：事前もしくは当日) ※一部の講座等は有料

来場者数：約12万人(見込み)

出 展 社：約500社(見込み)

出展募集：2020年2月3日(月) 開始予定



南展示ホールへのご来場者の様子

### H.C.R. 2020の会場とご出展について

H.C.R.は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の影響から、2020年も東京ビッグサイト「西・南展示ホール」を会場として開催します。H.C.R. 2019においてはとくに南展示棟への誘導看板の設置、南展示棟4階に直行するシャトルバスの運行、南展示棟奥の立体駐車場からの受付の工夫と、車いす貸出しコーナーや来場者アンケート回収および景品コーナー、アプリ使用により福祉機器ガイドブックを無料提供する特設サービスコーナーの設置など、入場誘導をさまざまに講じました。H.C.R. 2020においても、こうした来場者の導線確保をさらに強化・拡充し、いっそうの誘導計画をすすめてまいります。

H.C.R. 2020へのご出展に関する情報については、2020年1月中旬に順次H.C.R.Webサイトなどで公表いたします。